



サタケジャパンクラシック

SATAKE JAPAN CLASSIC



サタケが冠スポンサーとなった「サタケジャパンクラシック」が、1994年から1996年の3回にわたり開催されました。第3回大会では、ローレービスプロが優勝。賞金と、賞品のカップライスが贈られました。

南カルフォルニア大学より功績賞を受賞



本賞は、南カルフォルニア大学の卒業生で顕著な功績が認められる個人に贈られる賞です。佐竹利子代表は、世界の3大主食である米・麦・とうもろこしの穀物加工機械の普及に貢献した功績が認められました。日本人の受賞者としては5人目となります。

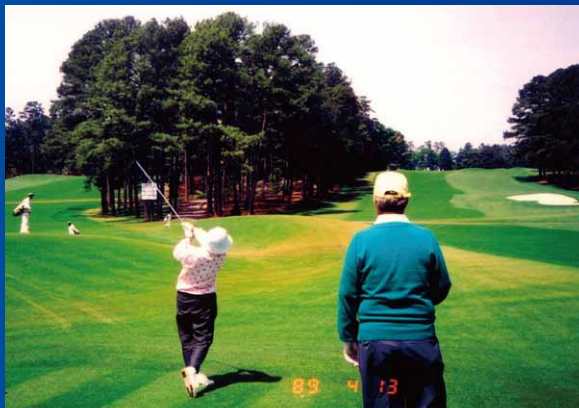
佐竹利子代表とWebb副会長 (Alumni Association)

SATAKE HISTORY MUSEUM

サタケ歴史館



オーガスタ・ナショナルカントリークラブ



第74回年次南カルフォルニア大学同窓会表彰祝賀会



サタケがグローバル企業となる原点。 寛と利子の運命的な出会い。(南カルフォルニア大学キャンパスで)

マスターズが毎年開催されるオーガスタ・ナショナルカントリークラブは、1932年にゴルフの伝説ボビー・ジョーンズの手によって設計されて作られたものです。全米の著名人によってメンバーが構成されていて、現在メンバー数はわずか200人ほどです。オーガスタナショナルは、世界一美しいコースで、1年の間マスターズが開催されるわずか1週間のために1年間欠かさずコースの手入れがされています。13番のアゼリアや、数々の名ショットを生んだ16番のショートホールなどはあまりにも有名です。弊社代表の佐竹利子は世界のトッププロでさえプレイが困難な本コースでプレイできる数少ない日本人の1人です。



サタケの歴史をまるごと体感

サタケ年表



「サタケ歴史館」は、1世紀以上にわたるサタケの歩みと、歴代社長をはじめとする先人達の功績を後世に伝えることを目的として、広島本社クリスタルラボラトリー4階に開設されました。

創業以来開発してきた製品や、佐竹利彦二代目社長の愛用品、歴代社長・代表の論文など、めずらしいものがたくさん展示され、サタケの歴史を心と体で学べる空間となっています。



歴代社長・代表略歴



資料(論文・ポスター・愛用品)



A. 歴代社長の論文(円内は佐竹利彦手書きのレポート)

B. 掛け軸(左の2つは利市が書いた書、右は利彦が16歳の時に描いた利市の肖像画と3歳の時の習字)

C. 佐竹利彦が油彩で描いたポスター

D. 佐竹利彦が愛用していたカメラ

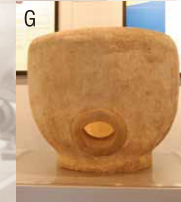
E. 社章の原型(昭和8年頃、西条駅前にあった第二工場の壁に刻まれていた。このマークが原型となって現在の社章が制定された)



展示機器一覧

1. 千歯こき・とうみ・からうす
2. 4連唐臼搗精機
3. 41年式第2佐竹精穀機
4. E型精米麦機/ワンパス精米機
5. パールマスター精米機/餅搗き精米機
6. ライスマスター(粳摺機)
7. グレインソーター(色彩選別機)
8. 食味計
9. SIMモーター
10. ローラーミル
11. マジックミル/クリーンワンパス

開発した製品



F. 歴代の精米機

GH. 4連唐臼搗精機(日本で最初の動力精米機に使われたの臼と精米機の模型)

I. 粳摺機、色彩選別機、食味計など

J. 41年式第2佐竹精穀機(この精米機によって初めて吟醸酒が生み出された)